

AMANO

エアロゾルコレクター

AC-8



取扱説明書（操作マニュアル）

参照ページ

各部の名称

6

ご使用の前に

8

運転

9

保守

11

こんなときには

15

このたびはアmano製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。お読みになった後は、いつでも使えるように大切に保管してください。

重 要

- ◎『1. 安全にお使いいただくために』（P.3～5参照）を必ずお読みいただき、正しくお使いください。
- ◎運転・保守に関する指示を守り、日常点検・定期点検を励行してください。
- ◎設置および点検について法令並びに条例による規定がある場合はその規定に従ってください。
- ◎本書は標準仕様の製品を対象とした取扱説明書です。お客様のご指示により特注仕様に変更した場合は、デザイン・操作方法が異なる場合があります。

制作年月：2021年3月

もくじ

1. 安全にお使いいただくために.....	3
2. 各部の名称	6
外観	6
コントロールパネル	7
3. ご使用の前に.....	8
製品の設置	8
電源コード・電源プラグの確認	8
4. 運転	9
運転の開始と停止	9
風量の調整	9
ロック機能	10
5. 保守	11
点検・確認ランプが点灯した場合の対応	11
あらかじめご用意いただくもの	13
点検・清掃における重要事項	13
吸込口の清掃	13
6. こんなときには.....	15
7. 定期点検	16
8. 仕様	17
仕様表	17
9. 外形寸法	18
10. アフターサービスと保証	19
使用中、異常が生じたとき	19
保証について	19
11. 廃棄	19

はじめに

本製品は空気中に浮遊する微粒子を吸引・捕集する空気清浄機です。

あらかじめご承知いただきたいこと

- 本製品は空気中に浮遊する微粒子の吸引および捕集を目的とした製品です。
 - ・次ページ以降の「△警告」「△注意」に示す条件等では使用できません。
- 製品改良のため、仕様・外形・記載事項が変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 本機は日本国内での取引並びに使用を前提とし、海外で使用する場合や海外への部品供給の保証等に関する責任は負いかねます。
- 本機は製品機能上、定期的に内部の集塵ユニット（電極や活性炭フィルターなど）の清掃・交換などが必要です。必ず製品のメンテナンスを定期的を実施してください（使用環境によりメンテナンスサイクルは異なります）。定期的にメンテナンスを実施しない場合は、性能低下や製品故障の他、重大な事故（製品整備不良による火災や感電事故など）が発生するおそれがあります。また製品の保全者対象範囲の製品の点検や保守、メンテナンス作業については有償にて承っていますので、最寄の販売店または弊社支店・営業所にご相談ください。
- 医療機器など精密機器の付近の使用はできません。またそれに伴う誤動作や故障ならびに全ての二次災害に関する責任は負いかねます。

免責事項

下記の使用による事故、故障等は責任を負いかねますのでご了承ください。

- ・製品運用に伴う全ての二次災害の場合。
- ・本機内で発生した火災・爆発に起因する場合。
- ・本書に記載された内容と異なる不適切な使用条件、操作方法および用途に起因する場合。
- ・保守や消耗品交換を実施しなかったことに起因する場合。
- ・弊社および弊社が認める第三者以外による修理・改造・移設に起因する場合。
- ・火災・地震・水害などの天災や不可抗力に起因する場合。
- ・弊社が製造時に科学的および技術的に予見できなかったことに起因する場合。
- ・医療機器など精密機器の付近の使用やそれに伴う誤作動に起因する場合。
- ・製品の移動および設置に起因する場合やそれに伴う全ての二次災害の場合。
- ・中古製品（アマノ株式会社が販売した後、転売等で再度流通した製品）を使用する場合。
- ・アース線付電源プラグのアース線を接続しないことに起因する場合。
- ・その他、弊社の責任に起因しない場合や二次災害に起因する場合。

操作者・保全者の定義

本書では操作者（ユーザー）と保全者（メンテナンスマン）について記載しています。対応範囲は異なりますので、必ず対象範囲を守ってご使用ください。操作者は本書に記載していない行為や保全者を対象としている行為（製品内部の保守作業など）については実施しないでください。

操作者対象範囲： 運転（ON/OFF）・運転設定（風量調整およびロック機能）・日常点検（吸込口および電源コード（電源プラグ）の確認）・吸込口の清掃（ほこりの除去）・エラー対応（保全者対象内容を除く）

保全者対象範囲： 製品内部の点検・清掃・部品交換・エラー対応（操作者対象内容を除く）

1. 安全にお使いいただくために

本書に記載した注意事項は次のように危険の程度や内容に応じて使い分けております。製品をお使いになる前に必ずお読みください。

警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示します。

- ・ 重傷とは、失明、けが、やけど（高温、低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が出るものおよび、治療に入院・長期の通院を要するものを指します。
- ・ 傷害とは治療に入院や長期の通院を要さないけが、やけど、感電などを指します。
- ・ 物的損害とは建物・財産・装置・機器などにかかわる拡大損害を示します。

絵表示の説明 具体的な内容は記号の中に絵で示します。



警告や注意を示します。



禁止の行為を示します。



必ずおこなうべき事で、強制する行為を示します。

警告

電源コードや電源プラグは



- ・ 配線器具の定格を超える使い方や交流 100V 以外では使用しないこと。
(火災や感電のおそれがあります)
- ・ 電源コードは傷つける、束ねる、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重たいものを載せる、高温のものに近づけるなどしないこと。
(電源コードが破損して火災や感電のおそれがあります)
- ・ 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないこと。
(感電のおそれがあります)
- ・ 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるい場合は使用しないこと。
(火災や感電のおそれがあります)
- ・ タコ足配線や延長コードやコードリールなどを使用しないこと。
(火災や感電のおそれがあります)
- ・ 電源プラグのほこりは定期的にとること。
(火災や感電のおそれがあります)



- ・ 電源コンセントは 3 芯のコンセントを使用すること。また変換プラグを使用して 2 芯のコンセントを使用する場合は、アース線をアース端子に接続すること。
(火災や感電のおそれがあります)
- ・ 電源プラグのほこりは定期的にとること。
(火災や感電のおそれがあります)
- ・ 電源コンセントに出来るだけ近い位置に製品を配置し、異常発生時に電源プラグを簡単にはずせるようにしておくこと。
(火災や感電のおそれがあります)

1. 安全にお使いいただくために（続き）



警告

ご使用時は



- ・以下の場所に設置して使用しないこと。
 - ・水蒸気や油煙などを直接吸引する場所
 - ・火気の使用を禁止している場所
 - ・金属を含む導電性のほこりのある場所
 - ・多量の粉塵が発生する場所
 - ・可燃性ガス・引火性ガスが発生する場所
(火災や爆発のおそれがあります)
- ・吸込口や排気口などに手や物などを入れないこと
(けがや感電のおそれがあります)
- ・排気口をのぞかないこと
(ほこりなどの異物の飛び出しにより眼をけがしたり健康を害したりするおそれがあります)
- ・製品に対して液体をつける、液体をかける、直接液体をいれるなどしないこと。
(液体を吸引することで火災や感電のおそれがあります)
- ・製品の上に液体が入った容器（花瓶やコップなど）を置かないこと。
(こぼれた液体を吸引することで火災や感電のおそれがあります)
- ・吸込口より製品内部を直視しないこと。
(紫外線により眼を傷めるおそれがあります)
- ・製品の周囲で加湿器を使用しないこと。
(加湿器から発生するミストを吸引することで火災や感電のおそれがあります)
- ・幼児の手の届く範囲では使用しないこと。
(けがや感電のおそれがあります)
- ・医療機器など精密機器の付近で使用しないこと。
(誤作動や製品故障のおそれがあります)

点検・保守作業は



- ・本書で作業説明している部分以外の点検扉・カバー・ネジなどは外さないこと。
(けがや感電のおそれがあります)
- ・操作者が保全者を対象とした保守作業（製品内部の点検など）を実施しないこと。
(けがや感電や火災などのおそれがあります)
- ・保全者以外が製品を分解・改造しないこと。
(異常動作や感電や火災などのおそれがあります)



- ・点検・保守・移動時には必ず運転を停止して電源プラグを抜くこと。
(けがや感電のおそれがあります)
- ・保全者による定期的なメンテナンスを実施すること。※
 - ・使用環境によってメンテナンスサイクルは異なりますが、使用状況に関わらず、1年に1回以上は製品メンテナンスを実施してください。
(異常動作や故障や感電や火災などのおそれがあります)

※高電圧機器のため、保全者による定期メンテナンスが必要です。保全者対象範囲の製品の点検や保守、メンテナンス作業については有償にて承っておりますので、最寄の販売店または弊社支店・営業所にご相談ください。

異常時（焦げた臭い・煙など）は



- ・直ぐに運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜くこと。その後弊社または販社に連絡すること。
(火災や感電のおそれがあります)

1. 安全にお使いいただくために（続き）



注意

電源コードや電源プラグは



- ・電源コードは必ず電源プラグを持って抜くこと。
（火災や感電のおそれがあります）
- ・長時間使用しない場合は電源プラグをコンセントから抜くこと。
（絶縁劣化による感電や火災のおそれがあります）

ご使用時は



- ・以下の場所に設置して使用しないこと。
 - ・湿気の多い水のかかる場所
 - ・傾斜のある場所
 - ・不安定な場所
 - ・高所
（感電や故障や転倒によるけがのおそれがあります）
- ・製品の上に乗る、寄りかかるなどしないこと。
（転倒によるけがや故障のおそれがあります）
- ・吸込口や排気口をふさいだまま運転しないこと。
（故障のおそれがあります）
- ・ベンゼン、シンナーなどを製品またはその付近に置いたり、製品を拭いたりしないこと。
（火災のおそれがあります）
- ・殺虫剤や制汗剤などの可燃性ガスを含むスプレーを噴霧しないこと。
（火災のおそれがあります）
- ・可燃性物質や火のついたタバコなどを吸込口に近づけないこと。
（火災のおそれがあります）
- ・製品設計上の標準使用期間（5年）を超えて使用されますと、経年劣化による火災、故障、けがなどの事故に至るおそれがあります。



- ・本製品を設置する場合は、必ず固定すること。
（製品が動いたり、転倒によるけがのおそれがあります）
- ・本製品は微量のオゾンを発生するため、狭い空間などで使用する場合は、定期的に換気を実施すること。
（健康被害のおそれがあります）
- ・使用環境温度は0℃～40℃にすること。
（故障のおそれがあります）
- ・使用環境湿度は90%RH以下（結露なきこと）にすること。
（故障のおそれがあります）

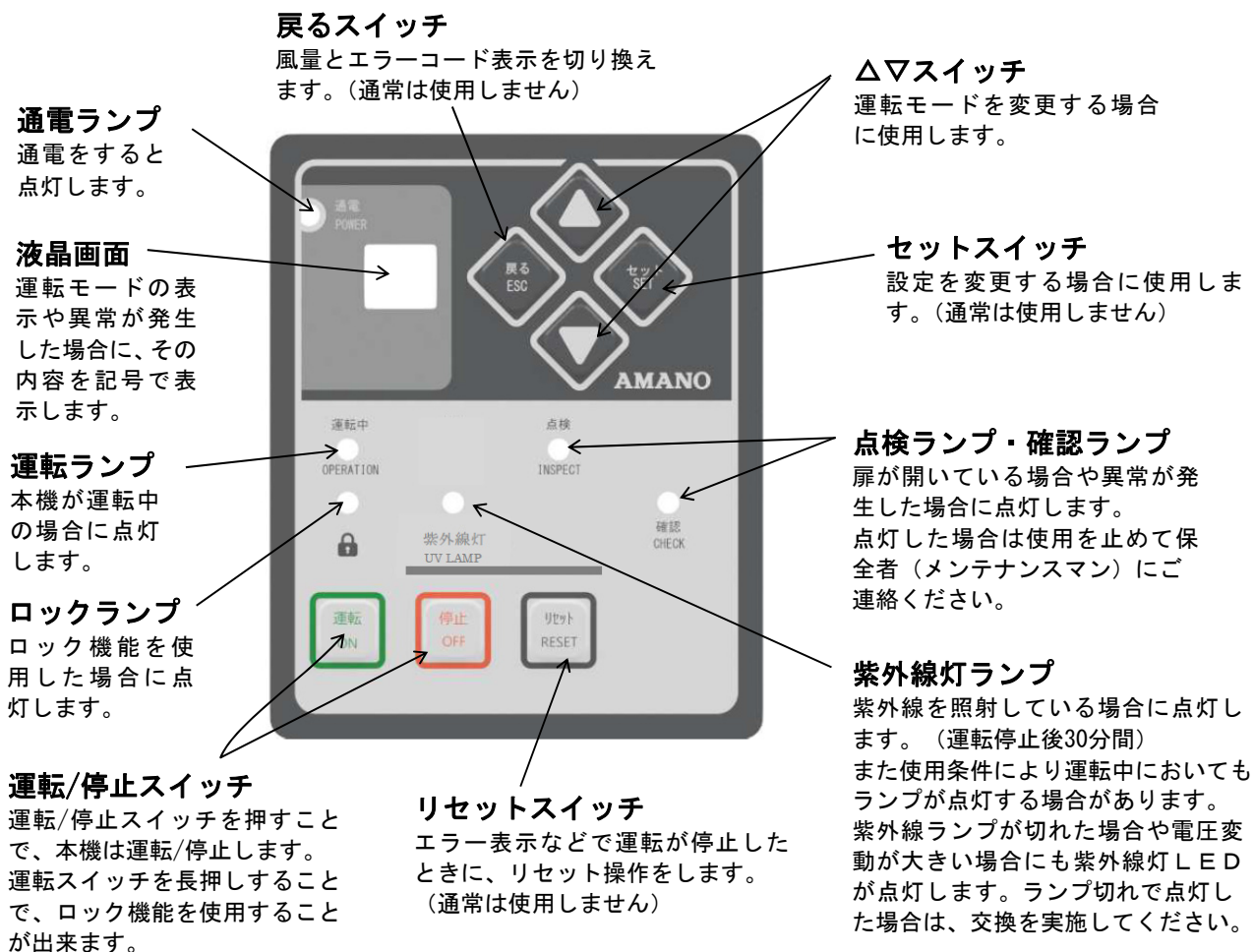
2. 各部の名称

外観



2. 各部の名称（続き）

コントロールパネル



※戻るスイッチ/セットスイッチ/リセットスイッチは操作者（ユーザー）の操作として使用しません。

3. ご使用の前に

『1. 安全にお使いいただくために』（P. 3～5参照）を必ずお読みいただき、正しくお使いください。

製品の設置

次の条件を守って設置してください。守らない場合は、性能を発揮できなくなったり、製品の故障や事故が発生するおそれがあります。

● 設置場所の条件

安全目的に加え本機の性能が十分発揮できるために以下の設置条件をご確認ください。

条件項目	確認事項	注意事項	備考①	備考②	チェック ☑	
温度・湿度	使用環境温度	0℃～40℃	凍結なきこと		<input type="checkbox"/>	
	使用環境湿度	10%～90%Rh	結露なきこと		<input type="checkbox"/>	
屋内設置	直射日光・雨水がかからないこと	製品質量を考慮した水平な床面へ設置	本体質量 36kg		<input type="checkbox"/>	
		強い振動や衝撃を受けないこと			<input type="checkbox"/>	
		メンテナンススペースを確保すること			<input type="checkbox"/>	
	設置禁止場所	危険場所への設置禁止	法令等による危険場所			<input type="checkbox"/>
		爆発や火災のおそれのある場所への設置禁止（気化または飛散している場所）	引火性物質	ガソリン・シンナー・ベンジン・灯油など		<input type="checkbox"/>
			爆発性物質	ニトルグリセリンなど		<input type="checkbox"/>
			発火性物質	アルミニウム・マグネシウムなどの爆発性金属粉		<input type="checkbox"/>
				赤リン・黄リン		<input type="checkbox"/>
		可燃性粉塵	石炭粉、合成樹脂粉、硫黄粉、でん粉など		<input type="checkbox"/>	
	医療機器などの精密機器の周辺付近	精密機器の故障または誤作動のリスクがあります。		<input type="checkbox"/>		
多量の粉塵が発生する環境下への設置禁止	エラー発生や故障の原因になります。		<input type="checkbox"/>			
電源	仕様電源電圧±10%の範囲を超えるコンセントからの電源供給は禁止	仕様電源電圧±10%の範囲を超える電源を供給した場合はエラー発生や故障の原因になります。		<input type="checkbox"/>		
キャスター	移動時以外はキャスター固定	ストッパーで固定のこと		<input type="checkbox"/>		
振動	強い振動を受けないこと			<input type="checkbox"/>		

電源コード・電源プラグの確認

ご使用前に電源コードおよび電源プラグに異常がないか確認してください。

（例：電源コードが傷ついている、電源プラグの差し込みがゆるいなど）

電源コンセントに電源プラグを差し込むと通電ランプが点灯します。

注意

電源コンセントは3心のコンセントを使用してください。変換プラグを使用して2心のコンセントを使用する場合はアース線をアース端子に接続してください。守らない場合、感電や火災の危険があります。

4. 運転

『1. 安全にお使いいただくために』（P. 3～5参照）を必ずお読みいただき、正しくお使いください。

運転の開始と停止

重要

- 吸込口や排気口に異物を入れないでください。故障の原因となります。
- 本機を改造しないでください。故障の原因となります。

1 運転を開始する

運転スイッチを押します。
運転を開始します。



2 運転を停止する

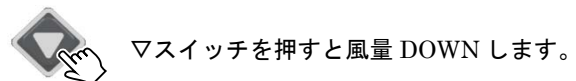
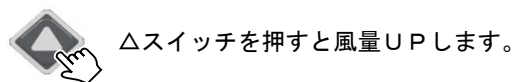
停止スイッチを押します。
モーターが停止します。



風量の調整

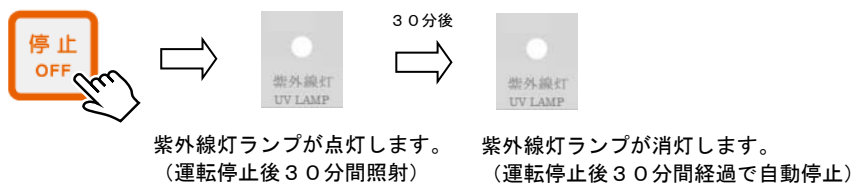
本製品は3段階の風量調整が可能です。
必要に応じて通電中に△▽スイッチを押して風量を調整してください。（任意の風量に設定は出来ません）

風量モード	液晶画面表示
大風量モード	3
標準風量モード（初期設定）	2
小風量モード	1



紫外線UV-Cランプの点灯について

本製品は各モードの運転停止した直後の30分間は製品内部に捕集した微粒子に紫外線を照射します。
30分を経過すると自動的に紫外線の照射が止まります。製品を移動させる場合などは運転停止後の紫外線照射(30分)が完了してから移動させてください。



※連続運転6時間毎に30分間の紫外線照射（紫外線灯ランプ点灯）を実施します。

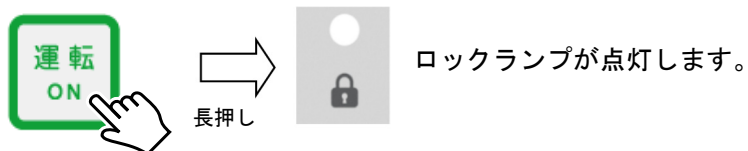
4. 運転（続き）

『1. 安全にお使いいただくために』（P. 3～5参照）を必ずお読みいただき、正しくお使いください。

ロック機能

本製品は運転中にお子様などが操作できないようにロック機能があります。
使用条件に合わせてご利用ください。

◇ロック機能を使用する場合



◇ロックを解除する場合



5. 保守

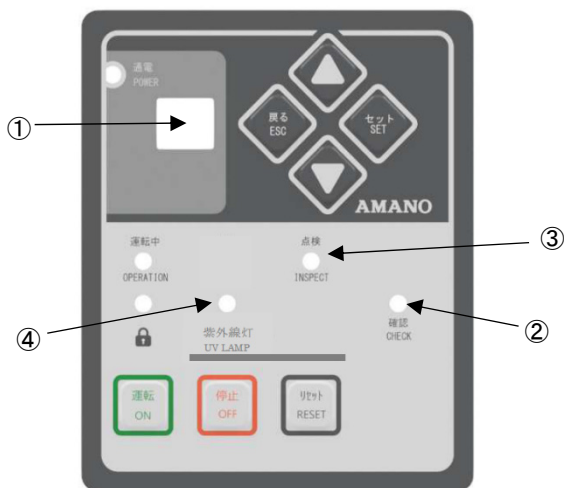
『1. 安全にお使いいただくために』（P. 3～5参照）を必ずお読みいただき、正しくお使いください。

点検・確認ランプが点灯した場合の対応

重要

- 本製品は機能上、定期的に内部の集塵ユニット（電極や活性炭フィルターなど）の清掃・交換といったメンテナンスが必要となります。（使用環境によりメンテナンスサイクルは異なります） 保全者対象範囲の製品の点検や保守、メンテナンス作業については有償にて承っていますので、最寄の販売店または弊社支店・営業所にご相談ください。

点検ランプまたは確認ランプが点灯した場合や紫外線灯ランプが常時点灯している場合は、液晶画面に表示されたエラーコードを保全者（メンテナンスマン）にご連絡ください。操作者は本書に記載していない行為や保全者を対象としている行為（製品内部の保守作業など）については実施しないでください。



エラーコード一覧

— : 点灯しない × : 対象外 ○ : 対象

①表示	②確認ランプ	③点検ランプ	④紫外線灯ランプ	運転状態	エラー内容	操作者	保全者 (有償保守)	原因と対処方法
Er01	点灯	—	—	運転継続	荷電極スパーク	×	○	・荷電部でスパークが増加 →保全者にメンテナンスを依頼してください。
Er02	点灯	—	—	運転継続	集塵極スパーク	×	○	・集塵部でスパークが増加 →保全者にメンテナンスを依頼してください。

※操作者は保全者（または有償による製品の保全者対象範囲の製品の点検や保守、メンテナンス作業）を対象とした保守作業を実施しないでください。

5. 保守（続き）

『1. 安全にお使いいただくために』（P. 3～5 参照）を必ずお読みいただき、正しくお使いください。

点検・確認ランプが点灯した場合の対応（続き）

エラーコード一覧

—：消灯 ×：対象外 ○：対象

①表示	②確認ランプ	③点検ランプ	④紫外線灯ランプ	運転状態	エラー内容	操作者	保全者 (有償保守)	原因と対処方法
door	—	点灯	—	停止	扉開放	×	○	・点検扉が開いている →保全者に連絡して点検扉を閉めるように依頼してください。
Er03	—	点灯	—	停止	温度異常	×	○	・電装部周辺が高温になっている →保全者に依頼して製品が高温となる要因を取り除いてください。
Er09	—	点灯	—	停止	ファン過負荷エラー	×	○	・ファンモーター過負荷 →保全者にメンテナンスを依頼してください。
Er10	—	点灯	—	停止	荷電部エラー	×	○	・荷電部（電極）に汚れが付着または短絡（ショート）が発生 →保全者にメンテナンスを依頼してください。
						○	○	・供給電源の電圧変動が大きい →電圧変動の要因となる機器とは電源システムを分けて運用してください。
Er12	—	点灯	—	停止	集塵部エラー	×	○	・集塵部（電極）で短絡（ショート）が発生 →保全者にメンテナンスを依頼してください。
Er24	—	点灯	—	停止	ファン回転異常	×	○	・ファンが回転していない →保全者に連絡して回転異常の原因を取り除くように依頼してください。（電気工事有資格者または弊社支店・営業所による対応を依頼ください）
Er51	点灯	—	点灯	運転/停止	紫外線UVランプ切れ	×	○	・紫外線UVランプが切れている →保全者にメンテナンスを依頼してください。
				運転/停止	電圧が不安定	○	○	・供給電源の電圧変動が大きい →電圧変動の要因となる機器とは電源システムを分けて運用してください。

※操作者は保全者（または有償による保全者対象範囲の製品の点検や保守、メンテナンス作業）を対象とした保守作業を実施しないでください。

5. 保守（続き）

『1. 安全にお使いいただくために』（P. 3～5参照）を必ずお読みいただき、正しくお使いください。

あらかじめご用意いただくもの

清掃作業開始前に清掃用の保護具（マスクや手袋など）や掃除機をご用意ください。



マスク



手袋

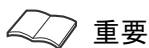


掃除機



保護メガネ

点検・清掃における重要事項



重要

●点検・清掃前の注意について：

- 点検および清掃するときは、必ず電源プラグを抜いてください。

●点検および清掃頻度の注意について：

- 集塵ユニット（電極やプレフィルターなど）は、使用条件によりメンテナンスサイクルは異なります。必要に応じて頻度を変更してください。なお、汚れの付着具合に関わらず1年に1回以上は集塵ユニットの点検および清掃を保全者に依頼してください。（保全者対象範囲の製品の点検や保守、メンテナンス作業については有償にて承っています）
- 汚れの堆積に関わらず点検をしても頻繁に異常なスパークが発生して遮断停止するときは、集塵ユニットの洗浄を保全者に依頼してください。

吸込口の清掃

吸引が弱い場合は吸込口表面に付着したほこりを取り除いてください。



重要

- 清掃作業の際は、手袋やマスクなどの保護具を着用ください。
- 本機への電源供給を切ってから清掃作業を実施してください。

① 保護具（マスクや手袋など）を着用する



② 停止スイッチを押して運転を停止する



※運転停止後の紫外線照射（30分間の自動照射）が完了してから

③以降の作業を実施してください。

③ 電源プラグを抜く



5. 保守（続き）

『1. 安全にお使いいただくために』（P. 3～5参照）を必ずお読みいただき、正しくお使いください。

吸込口の清掃（続き）

④ 吸込口表面に付着したほこりを取る

掃除機などを使用してほこりを除去してください。

直接ほこりが取れない場合は、吸込口の1次フィルター（正面用×1と側面用×2）をはずしてほこりを除去してください。1次フィルターの破れなどが確認できた場合は、新しい1次フィルターに交換してください。

破れた状態のままの1次フィルターを使用したり、1次フィルターを取りはずしたまま運転すると、動作不良や故障のおそれがあります。



1次フィルター



※1次フィルターは水洗いできません。

名称	部番
1次フィルターセット	FFC-950170

※部品構成は正面用1枚、側面用2枚になります。

⑤ 電源プラグをコンセントに差し込む

6. こんなときには

ご使用中に異常が生じたときは、安全のため、ただちに使用を止めて運転を停止してください。
 ご自分で修理なさらずに保全者に対応していただくか弊社支店・営業所までメンテナンス（有償サービス）
 をご依頼ください。操作者は本書に記載していない行為や保全者を対象としている行為（製品内部の保守作
 業など）については実施しないでください。

×：対象外 ○：対象

現象	操 作 者	保 全 者	原因	対策
運転スイッチを入れても作動しない	○	○	電源プラグが抜けている または電源プラグの差し込みが不完全	・電源プラグをコンセントに正しく差し込んで使用してください。
点検ランプが点灯した	○	○	荷電部エラーが発生（Er10 表示）	・電圧変動の要因となる機器とは電源系統を分けて運用してください。
運転停止後に紫外線 UV 灯ランプが点灯した	○	○	運転停止後に紫外線を照射します。 30分で消灯します。	・機能上必ず実施する仕様のため、異常ではありません。
紫外線 UV 灯ランプと確認ランプが点灯した	○	○	供給電源の電圧変動が大きい （Er51 表示）	・電圧変動の要因となる機器とは電源系統を分けて運用してください。
吸引力が弱い	○	○	吸込口にほこりが堆積している	・吸込口または 1 次フィルターに付着しているほこりを取り除いてください。
パチッと音がする	○	○	集塵ユニット部にほこりが入り込む	・集塵ユニット部にほこりなどが入り込むとパチッと音がする場合がありますが、異常ではありません。
パネル操作ができない	○	○	ロック機能が有効になっている （ロックランプが点灯）	・ONスイッチを長押ししてロック機能を無効にしてください。
運転スイッチを入れても作動しない	×	○	電源コードの断線	・最寄の弊社支店・営業所に電源コードの修理を依頼してください。
	×	○	ブレーカーが落ちている	・保全者に依頼してブレーカーが落ちた要因を取り除いてからブレーカーを上げてください。
	×	○	モーターの故障	・最寄の弊社支店・営業所にモーターの修理を依頼してください。
	×	○	点検扉が開いている リミットスイッチの故障 （door 表示）	・保全者に連絡して点検扉を閉めるように依頼してください。 ・最寄の弊社支店・営業所にリミットスイッチの修理を依頼してください。
確認ランプが点灯した	×	○	荷電極スパークが発生（Er01 表示）	・保全者にメンテナンスを依頼してください。
	×	○	集塵極スパークが発生（Er02 表示）	・保全者にメンテナンスを依頼してください。
紫外線 UV 灯ランプと確認ランプが点灯した（運転停止時以外に点灯）	×	○	紫外線 UV 灯ランプ切れ （Er51 表示）	・保全者にメンテナンスを依頼してください。
点検ランプが点灯した	×	○	点検扉が開いている リミットスイッチの故障 （door 表示）	・保全者に依頼して点検扉を閉めてください。 ・最寄の弊社支店・営業所にリミットスイッチの修理を依頼してください。
	×	○	電装部周辺が高温になっている （Er03 表示）	・保全者に依頼して製品が高温となる要因を取り除いてください。
	×	○	ファンモーター過負荷（Er09 表示）	・保全者にメンテナンスを依頼してください。
	×	○	荷電部エラーが発生（Er10 表示）	・保全者にメンテナンスを依頼してください。
	×	○	過電圧エラーが発生（Er11 表示）	・保全者にメンテナンスを依頼してください。
	×	○	集塵部エラーが発生（Er12 表示）	・保全者にメンテナンスを依頼してください。
	×	○	ファン回転異常（Er24 表示）	・保全者に連絡して回転異常の原因を取り除くように依頼してください。（電気工事有資格者または弊社支店・営業所による対応を依頼ください）
異音・異臭がする	×	○	モーターの故障	・最寄の弊社支店・営業所にモーターの点検または修理を依頼してください。
	×	○	活性炭フィルターの寿命	・保全者に連絡して活性炭フィルターの交換を依頼してください。

7. 定期点検

下記の点検周期は一般的な事例としています。使用環境条件によりメンテナンスサイクルは異なりますので使用条件に合わせた定期点検を実施してください。定期的にメンテナンスを実施しない場合は、性能低下や製品故障の他、重大な事故（製品整備不良による火災や感電事故など）が発生するおそれがあります。操作者による製品内部の定期点検（保全者による定期メンテナンス）は実施しないでください。

×：対象外 ○：対象

点検箇所	操作者	保全者	点検の周期			関連基準	方法・内容
			1週間毎※	1ヶ月毎※	1年毎※		
製品およびその周辺	○	○	実施				① 製品またはその周辺に汚れの付着などの目視点検を実施し、確認できた場合は布などで拭き取ってください。
電源コード (電源プラグ)	○	○	実施				① 電源コードの劣化、破損、取付状態を点検してください。被覆が破れて芯線が出ている場合は直ちに使用を中止して、部品の交換を弊社支店・営業所に依頼してください。 ② 電源プラグを使用している場合は、破損・変形が無いか点検し、異常が確認できた場合は部品を交換してください。
吸込口	○	○		実施		吸引が弱い場合は清掃	① 吸込口および1次フィルターに付着しているほこりを取り除いてください。また1次フィルターの破れなどの異常が確認できた場合は、新しい1次フィルターに交換してください。
製品内部 (電極・活性炭フィルター・アフターフィルター・紫外線UV灯など)	×	○			実施 保全者または有償による点検、保守		① 使用状況に関わらず、保全者に製品内部のメンテナンス(清掃や部品交換)を依頼してください。(1年に1回以上は保全者にメンテナンスを依頼してください)

※点検の周期は使用環境条件などによって異なる場合があります。

注意

- 運転・保守に関する指示を守り、日常点検・定期点検を励行してください。
- 法令ならびに条例による規定がある場合は、その規定に従ってください。
- 点検時は、安全のため本機への電源供給を切ってください。また、適切な保護具と機材を使用してください。

8. 仕様

仕様表

型式	AC-8
電源	交流 100V (50Hz/60Hz) $\pm 10\%$ ※3
本体外形寸法 [mm]	幅 420×奥行 375×高さ 839
本体質量 [kg]	36
紫外線 UV-C 灯	電極左右に配置 (合計 2 本)
集塵方法	二段式電気集塵
風量 [m ³ /min]	7.5 (3 モード設定可能) ※2
運転音 dB[A]	平均 56 \pm 2 以下※1と2
消費電力 [W]	130
大気塵 0.1 μ m 集塵効率 [%]	99※2
電源コード [m]	2.5

※1 天井などが低く反響音がある場合や設置場所の使用環境条件によっては、騒音値が高くなる場合があります。

※2 弊社条件による値です。

※3 仕様電源電圧 $\pm 10\%$ の範囲でご使用ください。仕様電源電圧 $\pm 10\%$ の範囲を超える電源を供給した場合はエラー発生や故障の原因になります。

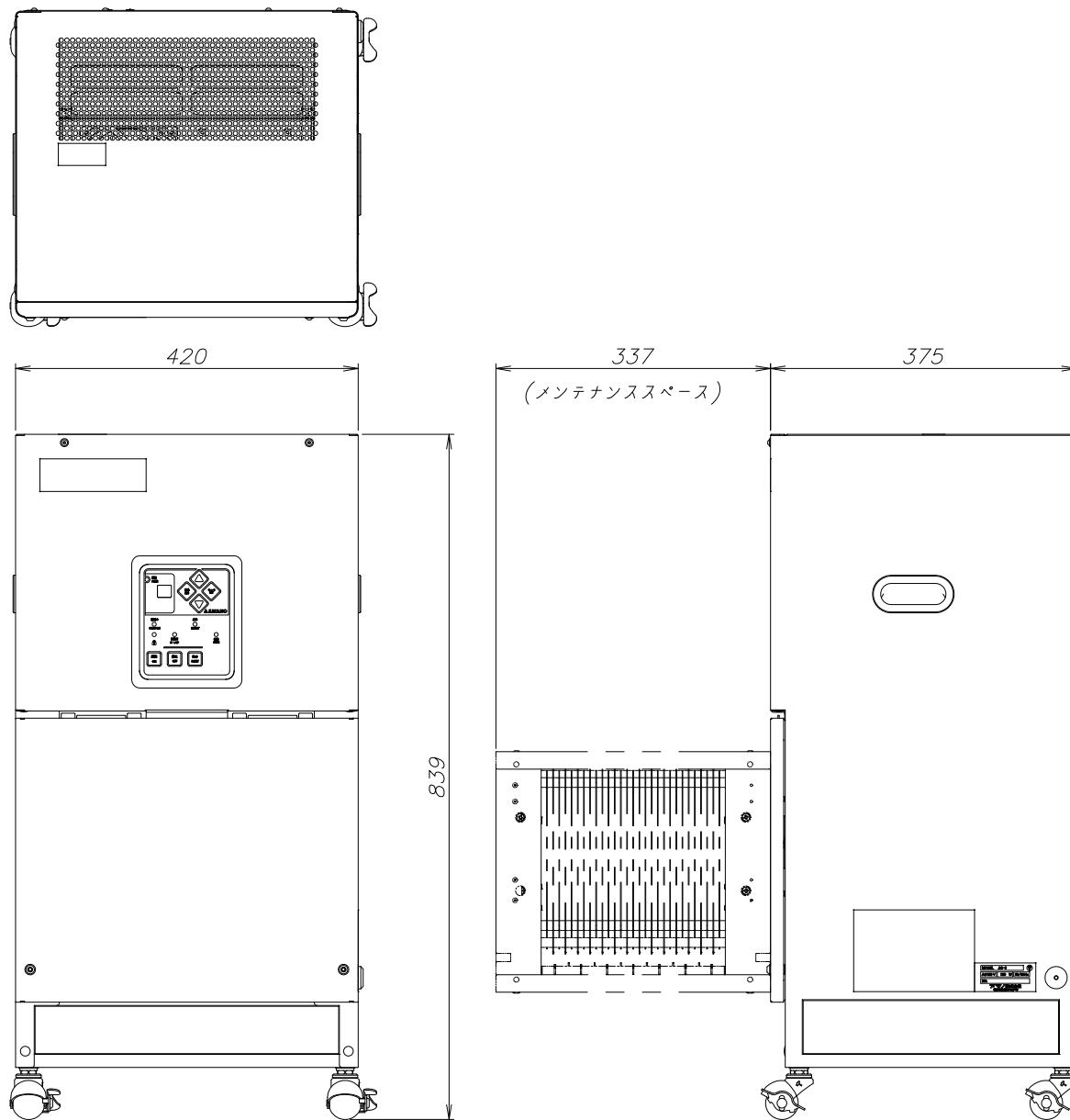
仕様表の内容は、日本国内向け標準機のものであります。

特注仕様など標準以外の仕様では内容が異なる場合があります。

この仕様は改良のため、予告なしに変更することがあります。

9. 外形寸法

単位：mm



※上記の外観図は、日本国内向け標準仕様のもので、特注仕様等は内容が異なる場合があります。

10. アフターサービスと保証

使用中、異常が生じたとき

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくお読みのうえで不具合内容を確認し、お買い求めの販売店または弊社支店・営業所にご相談ください。

保証について

- この製品は保証書付きです。
- 保証期間はお買い上げの日から1年間です。なお、保証期間中でも有料修理になることもありますので保証書をよくお読みください。
- 保証期間経過後の修理については、販売店または弊社支店・営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様の希望により有料修理いたします。
- 不明な点はお買い求めの販売店または弊社支店・営業所にお問い合わせください。
- 本製品は、日本国内での取引並びに使用を前提とし、海外で使用する場合は保証等に関する責任は負いかねます。
- 電極等の消耗部品は、製品保証対象外です。
- 本製品の動作不良や製品周囲への影響による全ての二次災害は保証対象外とします。

11. 廃棄

本機を廃棄するときは、関連する法令および条例に従って適切に処分してください。




本社／〒222-8558 横浜市港北区大豆戸町 275 番地

<https://www.amano.co.jp/>

■集塵機／ミストコレクター／環境商品関連のお問合せ

アマノ環境サポートセンター

 **0120-439-161**

【E-mail】 ATMS-Eco@amano.co.jp

【受付時間】 月～金曜日 9:00～17:00（祝祭日・弊社休日を除く）
